



グローバル・ディスラプター成長株ファンド (資産成長型)／(予想分配金提示型)

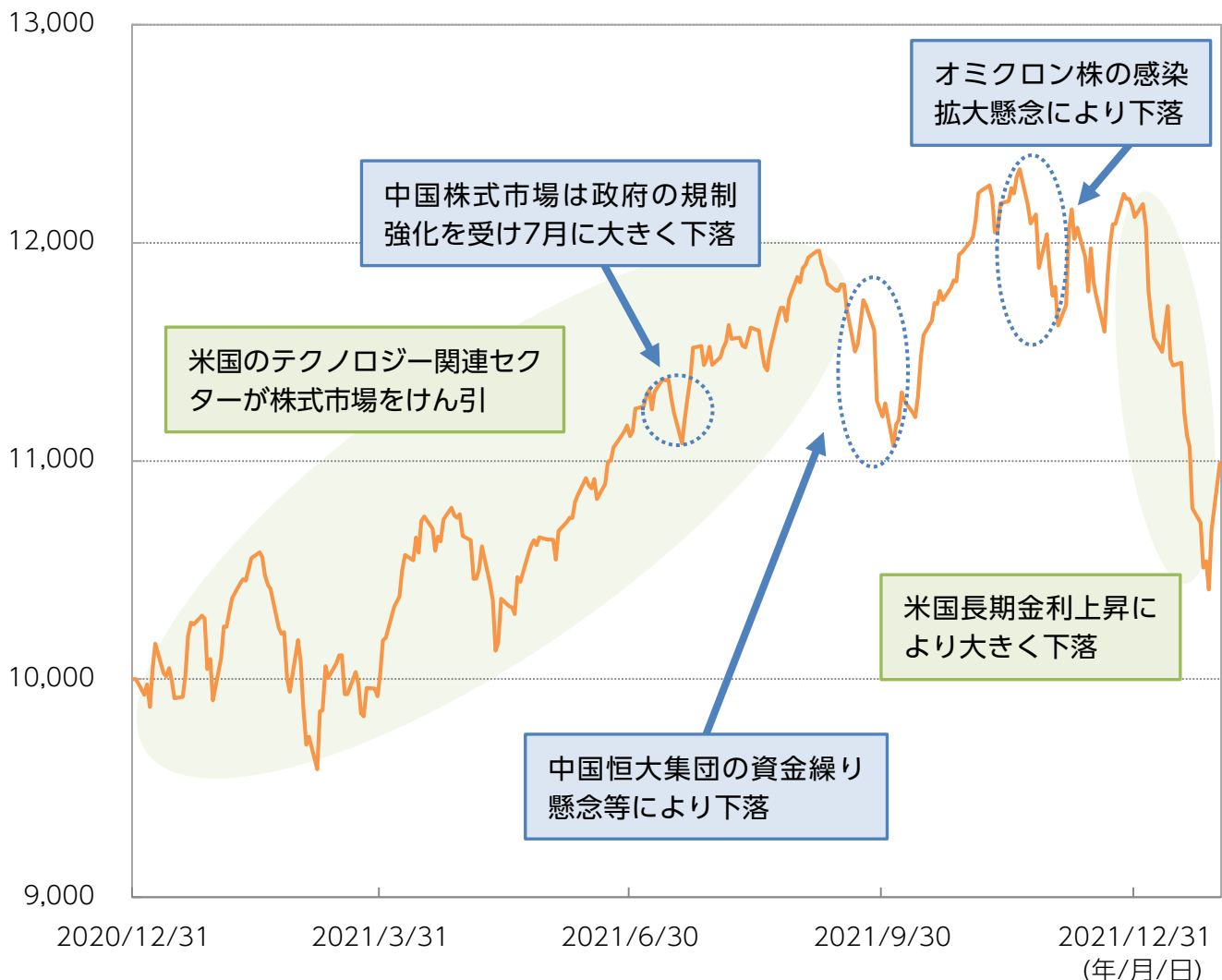
設定来の運用状況と今後の見通し

- グローバル・ディスラプター成長株ファンドの実質的な運用を手掛ける「GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッド」より、運用責任者であるマーク・ホーティン氏からの設定来の運用状況と今後の見通し等についてのメッセージをご紹介します。

2021年初から足もとの株式市場について

2021年の株式市場を見てみると、米国のインフレ懸念や長期金利の上昇、中国恒大集団の債務問題、新型コロナウイルス変異型の「オミクロン株」の感染拡大への懸念等から下落した場面もありましたが、**世界成長株は堅調に推移**しました。しかし、**2022年**に入り、米国の長期金利が上昇したことから**世界成長株は大きく下落**しました。

<世界成長株の推移>



データ期間：2020年12月31日～2022年1月31日(日次)

出所)FactSetのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 世界成長株は2020年12月31日を10,000として指数化

世界成長株：MSCIワールド・グロース・インデックス(配当込み、米ドルベース)

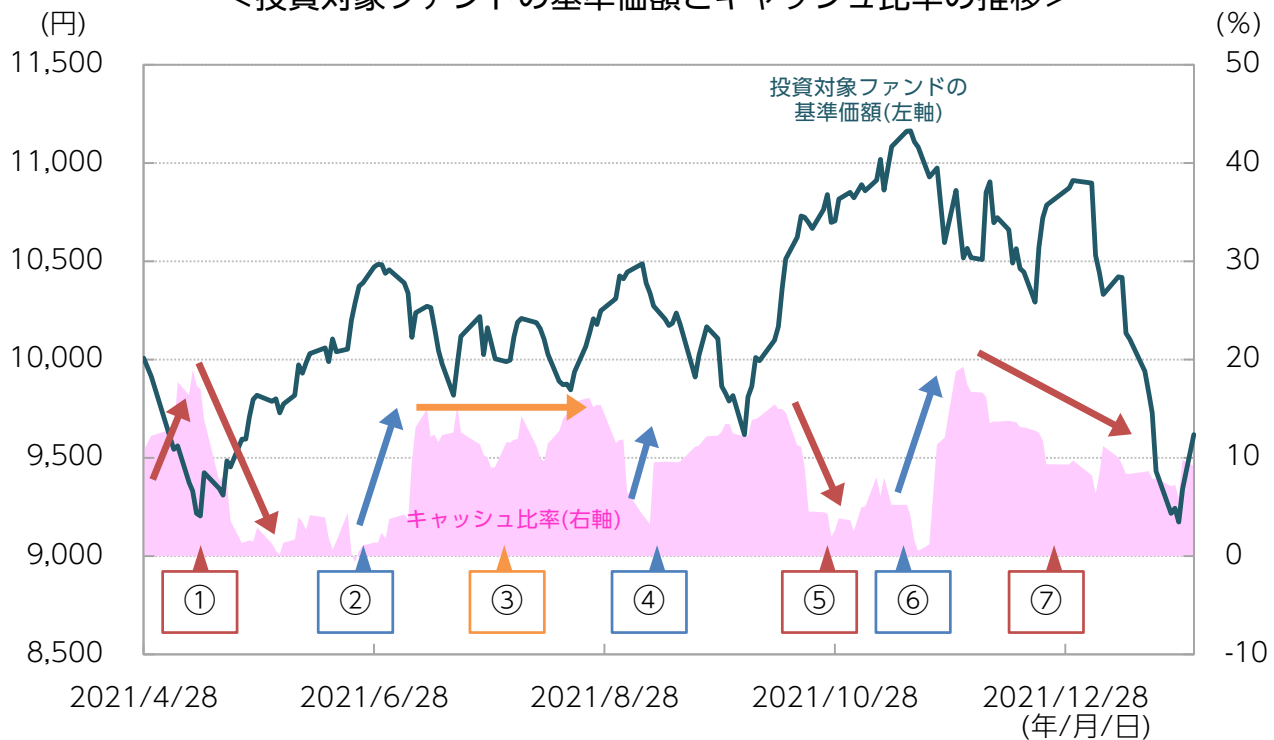
●当資料は、GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドの情報をもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成したものです。当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
<2021-SA191>

当ファンドのキャッシュ比率の調整について

当ファンドはテクニカル分析を活用し、上昇相場でも下落リスクが想定されるタイミングではキャッシュ比率を引き上げ(リスク資産の保有比率を引き下げ)、相場が下落し株価が割安になったと判断したタイミングでキャッシュ比率を引き下げる(リスク資産の保有比率を引き上げる)方針です。

当ファンドは引き続き、基準価額の下落リスクを抑制しながらリターン向上を図ってまいります。

＜投資対象ファンドの基準価額とキャッシュ比率の推移＞



＜設定来の主なキャッシュ比率の調整事由＞

①	米長期金利が上昇し株価が調整する局面でキャッシュ比率を 引き上げ 、下落が一服し株価が割安になったと判断したタイミングでキャッシュ比率を 引き下げ 。
②	中国政府による規制強化の動きを受けて基準価額の下落リスク抑制のためにキャッシュ比率を 引き上げ 。
③	中国の動向を注視しつつ、8月に取引量が低下する季節要因も踏まえキャッシュ比率を 比較的高い水準で維持 。
④	短期的な調整を見越し、キャッシュ比率を 引き上げた 結果、中国恒大集団の資金繰り懸念による株価下落の影響を抑制。
⑤	米国企業の良好な7 - 9月期決算等により、下落が一服し株価が割安になったと判断したタイミングでキャッシュ比率を 引き下げ 。
⑥	米利上げ前倒し観測とオミクロン株による新型コロナウイルスの感染拡大の警戒感からキャッシュ比率を 引き上げ 。
⑦	投資機会を捉えて新規銘柄に投資、徐々にキャッシュ比率を 引き下げ 。

データ期間：2021年4月28日～2022年1月31日(日次)

出所)GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

上記は当ファンドが主に投資対象とする「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」の運用状況を示したものです。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

基準価額の上昇に寄与した投資行動例

クラウドフレア(米国)

<企業向けセキュリティ関連サービス等のクラウドソリューションを提供>

バリュエーションが割安と判断した5月下旬に新規に組み入れ、割高と判断した11月上旬に全売却を行いました。組入期間中の株価パフォーマンスは約157%となり、ファンドのパフォーマンスに大きく貢献しました。売却後に株価は下落基調に転じています。



ニュー・レリック(米国)

<アプリケーションパフォーマンス分析のクラウドサービスを提供>

ファンドの設定時から保有していましたが、11月上旬の市場予想を上回る四半期決算の発表により株価が急上昇したことでバリュエーションが高まったことから全売却を行いました。組入期間中の株価パフォーマンスは約88%となり、ファンドのパフォーマンスに大きく貢献しました。



データ期間：2020年12月31日～2022年1月31日(日次)

出所)ブルームバーグ、GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また、当該銘柄の組入を保証するものではありません。

基準価額の下落につながった投資行動例

ニュー・オリエンタル・エデュケーション・アンド・テクノロジー・グループ(中国)

<中国の教育サービス事業会社>

6月初めに新規に組み入れましたが、7月下旬に中国政府が学習塾の規制強化策を発表したことを受けて、株価が急落しました。規制強化については認識していたものの、同社の主な収益基盤である中国国内での学習塾経営を禁止するという、予想よりもはるかに厳しい内容であったことから、7月下旬の急落後の高値を付けた**9月上旬に全売却**を行いました。



ブーフー・グループ(英国)

<英国のオンラインファッション小売会社>

ファンド設定時から保有していましたが、9月末の上半期決算発表で、通期の売上高及び利益見通しを引き下げたことから株価の下落傾向が続くと予想しました。同社は英国内のサプライヤーにおける最低賃金を下回る労働条件の問題も抱えており、ESGの観点での懸念も続いていたことから、**10月中旬に全売却**を行いました。



データ期間：2020年12月31日～2022年1月31日(日次)

出所)ブルームバーグ、GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また、当該銘柄の組入を保証するものではありません。

2022年の見通しと日本の投資家に向けたメッセージ

金利上昇の影響は過去に比べて少ない。適正なバリュエーションをより重視

米連邦準備制度理事会(FRB)は量的金融緩和の縮小(テーパリング)の加速と利上げの開始を実施すると見込まれていますが、最近の成長企業の多くは負債が少なく、キャッシュを生み出す能力が高いため、金利上昇の影響は従来に比べて少ないと考えています。

今後、金融政策の正常化に向けた動きが進むなかで、株式市場では業績相場へのシフトが強まり、個別銘柄のリターンについても格差が拡大すると見込まれ、適正なバリュエーションがより重視されると考えています。

ディスラプターは景気に大きく左右されない成長が期待される

現在、金融、ヘルスケア、製造業、運輸などの幅広い産業において急速なデジタル化が進んでおり、企業は生産性向上のため新たなテクノロジーの採用に取り組んでいます。これらを支えるテクノロジーを駆使したディスラプター(創造的破壊者)は、景気に大きく左右されない成長が期待され、当ファンドのパフォーマンスに引き続き恩恵をもたらすと考えています。

日本の投資家の皆様へ

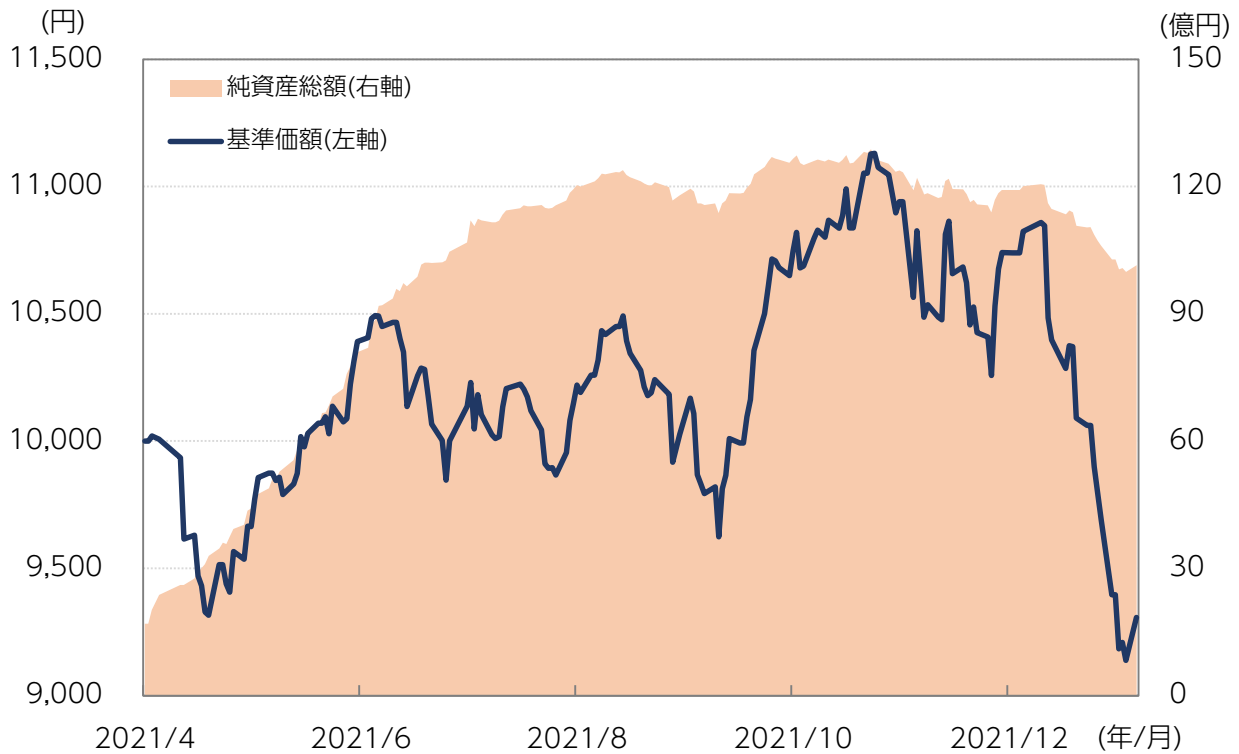
今後、テクノロジーを駆使したディスラプターの破壊力は多くの産業で加速していくとみています。テクノロジーやビジネスの急速な変化を捉えるためには、トップダウンアプローチでテクノロジーテーマのサイクルを見極め、ボトムアップアプローチによるファンダメンタルズ分析(“どの銘柄に投資するか”)とテクニカル分析(“いつ投資するか”)を融合した柔軟かつ機動的な投資アプローチが最も適した投資手法と確信しています。投資家の皆さまからお預かりしたご投資資金については、ダウンサイドリスクを抑制しつつ投資収益の最大化を図ることを目標に運用を行ってまいります。



マーク・ホーティン
運用責任者 : Mark Hawtin

基準価額・純資産の推移(2022年1月末時点)

資産成長型



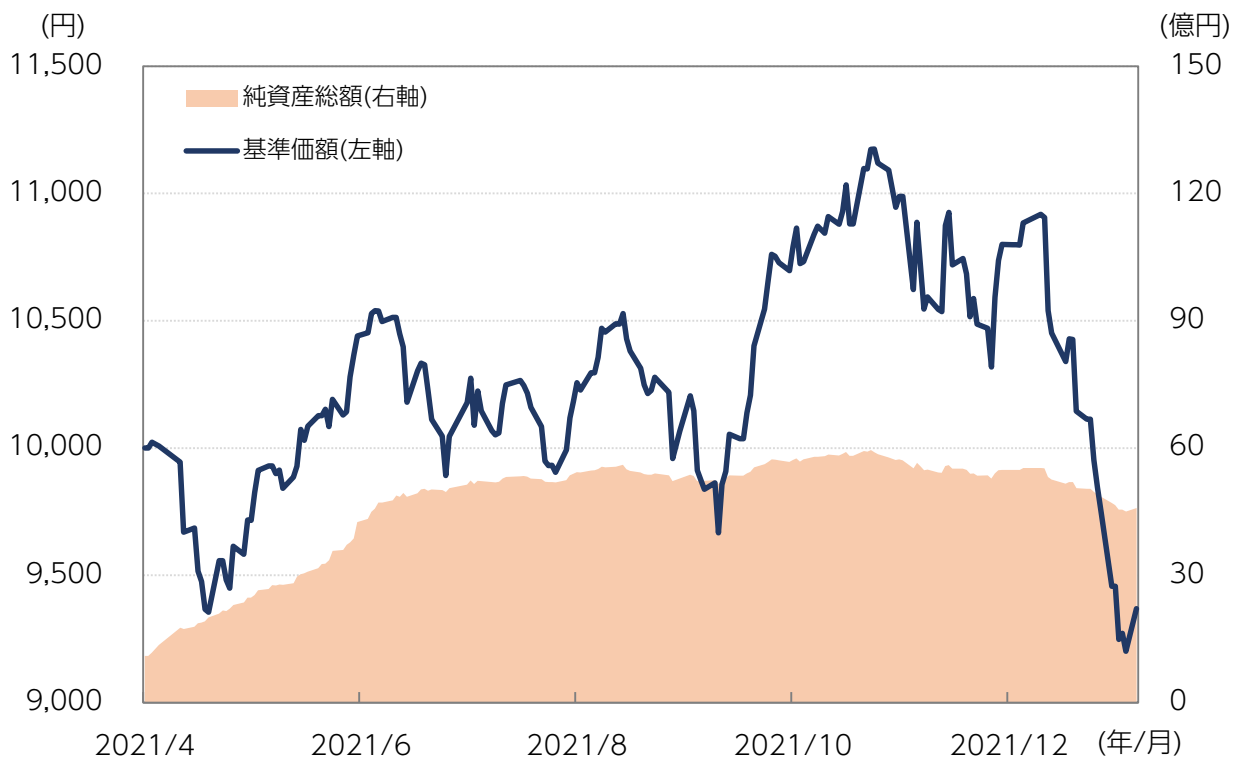
基準価額

9,307円

純資産総額

101.4億円

予想分配金提示型



基準価額

9,369円

純資産総額

45.8億円

データ期間：2021年4月26日<設定日>～2022年1月31日(日次)

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。基準価額は信託報酬控除後、1万口当りの値です。

ファンドの特色

- ①日本を含む世界の株式のなかから、既存の市場を破壊しうる革新的な技術・ビジネスモデルを有し、株価上昇が期待できる成長企業の株式に厳選して投資します。
- ②決算頻度および配分方針の異なる2つのファンドから選択いただけます。
 - <資産成長型>年1回決算を行います。信託財産の十分な成長に資することに配慮し、分配を抑制する方針です。
 - 毎年4月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。
 - <予想分配金提示型>毎月決算を行い、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。
 - 毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。
 - 収益配分方針に基づき、決算日の前営業日の基準価額(1万口当り。支払い済みの分配金累計額は加算しません)に応じて、以下の金額の分配を行うことをめざします。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当り、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

- ・決算日の前営業日から決算日まで基準価額が急激に変動した場合等には、上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。
- ・基準価額の値上がりにより、該当する分配金テーブルが分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える場合等には、テーブル通りの分配ができないことがあります。
- ・基準価額に応じて、毎月の分配金額は変動します。基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
- ・分配を行うことにより基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。
- 将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。
- ・販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド(指定投資信託証券を含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- **ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。**

主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。特に、新興国の経済状況は先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があり、ファンドの資産価値が大きく減少したり、運用方針にそった運用が困難になる可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

- 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 株式市場が大幅に下落する可能性が高いと判断する場合には、主要投資対象とする外国投資信託証券において株式の組入比率を引き下げることがあります。このため、市場が予期しない値動きをした場合等には、この運用が効果的に機能しない可能性があり、その際には基準価額の下落リスクを軽減できないこと、あるいは株式市場の上昇に追従できないこと等があります。
- **ストックコネクト***を通じた取引に関しては、以下の事項にご留意ください。
 ファンドは中国A株への投資に際し、ストックコネクト(上海・香港相互株式取引制度および深セン・香港相互株式取引制度)を通じて行う場合があります。ストックコネクトを通じた投資は、取引や決済に関する特有の制限等で意図した取引等ができない場合、取引等に特有の費用が課される場合、ストックコネクトにおける取引停止や中国本土市場と香港市場の休業日の違いにより、中国本土市場の急変あるいは株価の大幅な変動時に対応できない場合等には、ファンドの資産価値が減少する要因となることがあります。また、ストックコネクトでは、投資者が不利益を被る大きな制度変更が行われる可能性があります。
 ※ストックコネクトとは、ファンドを含む外国の投資家が、上海証券取引所および深セン証券取引所の中国A株を香港の証券会社を通じて売買することができる制度です。なお、中国A株とは、主な投資家として中国居住者を想定しているものですが、一定の条件のもとでファンドを含む外国の投資家にも投資が認められています。
- ファンドは、多量の換金の申込みが発生し換金代金を短期間で手当てする必要が生じた場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等には、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引ができないリスク、取引量が限定されるリスク等が顕在します。これらにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金の申込みの受け付けを中止する、また既に受け付けた換金の申込みの受け付けを取消する可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性などがあります。
- ファンドのお取引に関しては、クーリング・オフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

取扱販売会社一覧

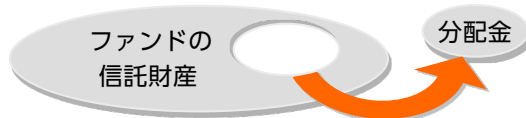
※ 販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

取扱販売会社名	登録金融機関		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
	金融商品取引業者	登録金融機関					
十六TT証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第188号	○			
東海東京証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第140号	○		○	○

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

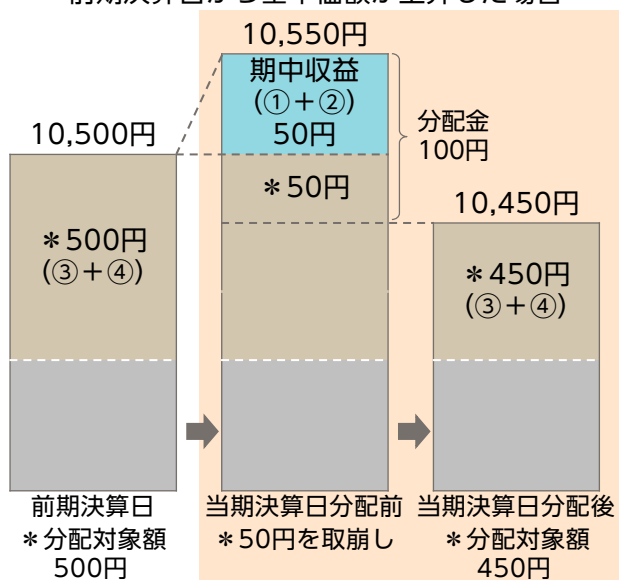
ファンドで分配金が支払われるイメージ



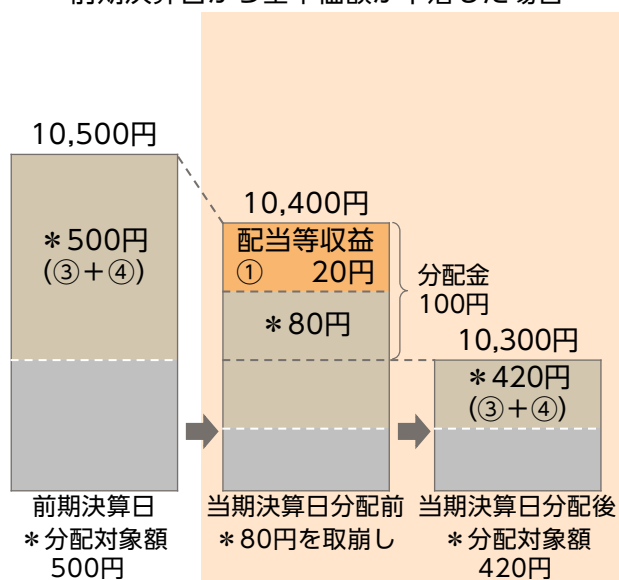
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合

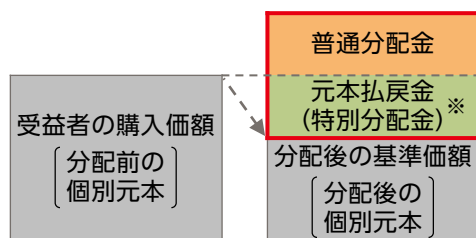


- 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 分配準備積立金：期中収益(①および②)のうち、当期の分配金として支払われず信託財産に留保された金額をいい、次期以降の分配金の支払いにあてることができます。
 収益調整金：追加型株式投資信託において追加設定が行われることによって、既存の受益者の分配対象額が減らないようにするために設けられた勘定です。

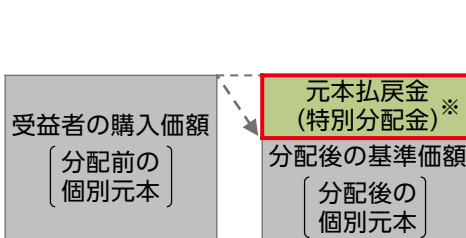
❗ 上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※実質的に元本の一部払戻しに相当する元本払戻金(特別分配金)が支払われると、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金：個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
 元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

- 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

● 当資料は、GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドの情報をもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成したものです。当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 3.3%(税抜3.0%)を上限 として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ●料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金時	信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	投資対象とする 外国投資信託証券	<p>ファンドの純資産総額に年率1.1825%(税抜1.075%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。</p> <p>基本報酬 外国投資信託証券の純資産総額に年率0.715%程度をかけた額となります。</p> <p>成功報酬 運用実績が良好であった場合にかかります。 ●年間最低基本報酬額等がかかる場合、純資産総額等によっては年率換算で上記の基本報酬の料率を上回ることがあります。成功報酬の詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。なお、これらの報酬は同証券からご負担いただきます。</p>
		実質的な負担	<p>ファンドの純資産総額に年率1.8975%(税込)程度をかけた額に成功報酬を加えた額となります。</p> <p>●上記料率は目安であり、各指定投資信託証券への投資比率が変動することにより、投資者が負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は変動します。また、外国投資信託証券に年間最低基本報酬額等がかかる場合、その純資産総額等によっては年率換算で上記の料率を上回ることがあります。成功報酬は、ファンドが投資対象とする外国投資信託証券において、その運用実績が良好であった場合にかかる費用です。</p>
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.011%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。	
随時	その他の費用・手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。	

- ! 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。
- ! 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なしに変更されることがあります。
- MSCI各種指数は、MSCI Inc. が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

委託会社【ファンドの運用の指図を行います】	ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会	ファンドに関するお問合せ先	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506 (9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く) ホームページ： https://www.nam.co.jp/
受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】	三菱UFJ信託銀行株式会社		

●当資料は、GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドの情報をもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成したものです。当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。